

来年度開通予定区間の工事現場を学生が見学します！

～業界と行政が力を合わせて発信！建設業の魅力を届けます！～



国道155号豊田南バイパスの工事現場において
学生を対象とした工事現場の見学会（第1～3回）を開催します
（全5回を予定）

【開催概要】

- ・第1回
日 時：令和7年9月22日（月）
10：00～14：00（2部制 午前：現場見学会/午後：意見交換会）
参加者：大同大学 建築学部建築学科都市空間インフラ専攻（2～3年生 14名）
- ・第2回
日 時：令和7年9月25日（木）
9：40～12：20（2部制 現場見学会/意見交換会）
参加者：豊田工業高等専門学校 環境都市工学科（1年生 43名）
- ・第3回
日 時：令和7年9月26日（金）
10：00～14：00（2部制 午前：現場見学会/午後：意見交換会）
参加者：東海工業専門学校 土木工学科・測量設計科（1年生 40名）

- 【添付資料】 別紙1 見学会位置図
別紙2 今後の見学会予定
別紙3 見学会のイメージ

【取材申込】 取材を希望される方は、9月18日（木）15時までに
右記QRコードまたはURLにて、お申し込みください。



取材申込
(※9/18)

<https://forms.office.com/r/YwujvGT&u>

現場の最前線で働く技術者と
学生さんの疑問にまるごとお答えします！



R6年度 現場見学会の様子



ICTで進化した建設業！
最新技術×スケール感で学生へ未来の工事を体感！



- ◆主催：中部建設青年会議 愛知県支部
- ◆協力：国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所

記者発表クラブ

中部地方整備局記者クラブ、豊田市政記者クラブ、豊田市政記者東クラブ

問合せ先

- 主催（現場見学会、座談会等に関する事）
中部建設青年会議 愛知県支部 電話：052-242-4191
事務局長 永井 謙二（ながい けんじ）
- 協力（国道155号 豊田南バイパスに関する事）
国土交通省中部地方整備局 名四国道事務所 電話：052-823-7917
副所長 和田 春樹（わだ はるき） 計画課長 中川 達也（なかがわ たつや）

見学会位置図 9/22 (第1回大同大学)

別紙1

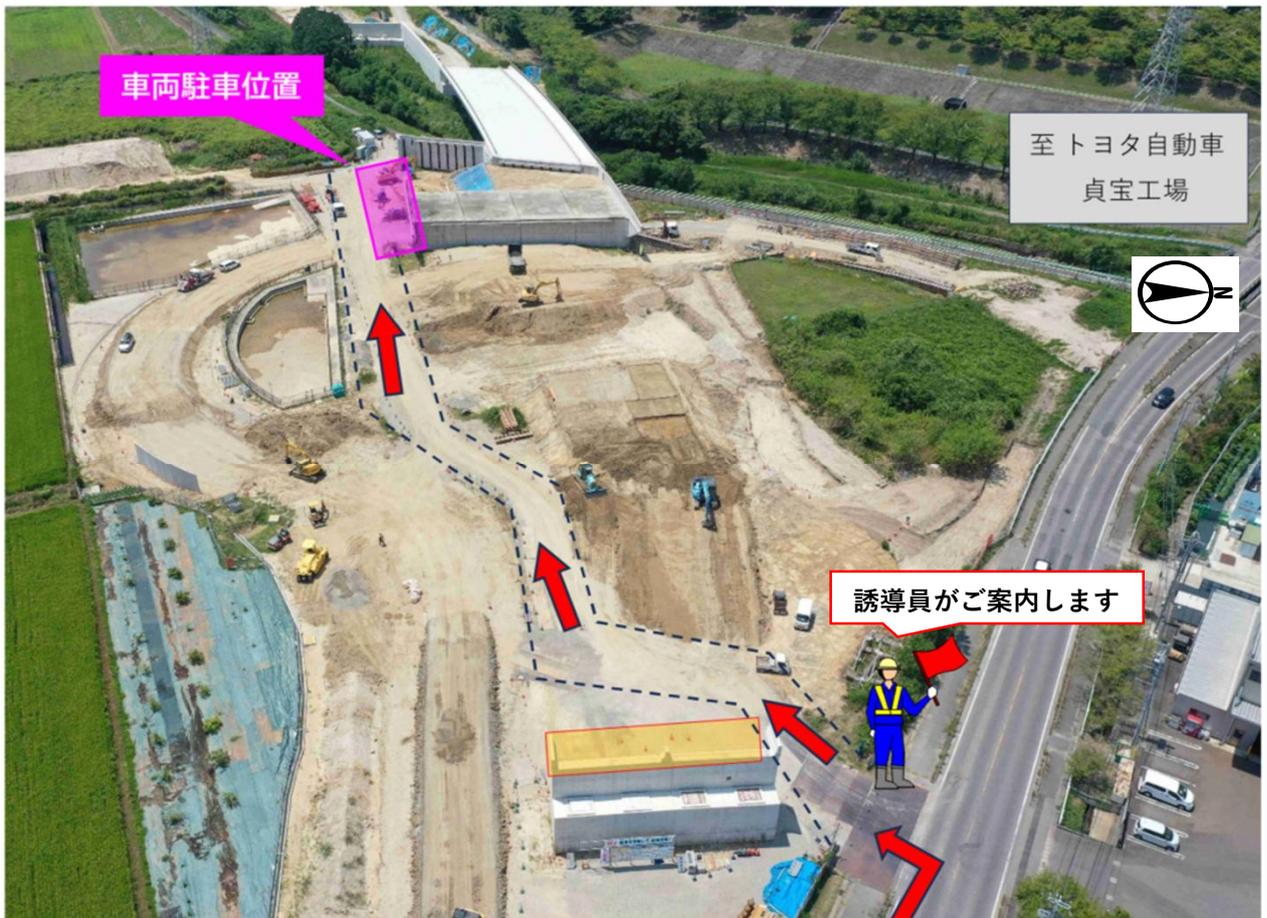
至名古屋方面

至瀬戸方面



至豊田市街

出展：国土地理院



第2部：座談会会場
豊田商工会議所（豊田市小坂本町1丁目）

逢妻4丁目交差点を左折後
100mで工事車両出入口

見学会位置図 9/25 (第2回豊田工業専門学校)



拡大図



第2部：交流会会場
豊田工業高等専門学校（豊田市栄生2-1）

出展：国土地理院

見学会位置図 9/26 (第3回東海工業専門学校)



拡大図



第2部：座談会会場
豊田商工会議所（豊田市小坂本町1丁目）

出展：国土地理院

今後の見学会予定

| 開催日（予定） | 時間 | 参加者 | 参加人数 | その他 |
|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------|------------------------|
| 第1回 令和7年9月22日（月） | 2部制 ①10:00～11:30 ②12:40～14:00 | 大同大学 建築学部建築学科都市空間インフラ専攻 2～3年生 | 14名程度 | 2部制 ①現場見学 ②意見交換会 |
| 第2回 令和7年9月25日（木） | 2部制 ①9:40～11:10 ②11:40～12:20 | 豊田工業高等専門学校 環境都市工学部1年生 | 43名程度 | 2部制 ①現場見学 ②意見交換会 |
| 第3回 令和7年9月26日（金） | 2部制 ①10:00～11:30 ②12:40～14:00 | 東海工業専門学校 土木工学科・測量設計科1年生 | 40名程度 | 2部制 ①現場見学 ②意見交換会 |
| 第4回 令和7年10月31日（金） | 調整中 | 愛知工業大学 調整中 | 30名程度 | |
| 第5回 令和7年12月8日（月） | 調整中 | 中部大学 調整中 | 60名程度 | |

※上記の予定は天候および工事状況により、内容が変更となる場合があります。

産×官×学でつながる！ 未来を担う学生と建設業を支える人々とのクロストーク！

建設現場の最前線で働く技術者が学生の不安や疑問にまるごとお答えします！
座談会、交流会には産・官の若手技術者が参加します！！



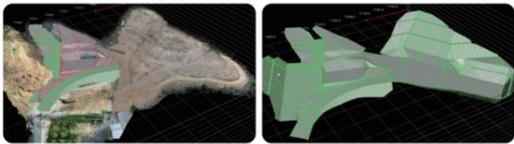
デジタル技術で最新の道路工事現場を見学

豊田南バイパスの道路工事はICT施工を活用している工事現場です。
建設業のDX化によって、安全性や生産性の高い施工が可能に！
また、ICT技術の力で若年技術者や女性技術者にとっても建設業でより活躍できる機会が増えた！などの経験談も技術者より聞けるかも。

道路工事におけるDX

DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革することを指します。

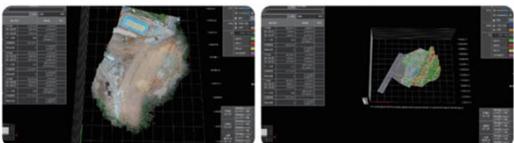
ドローンの技術



最近では、ドローンを使って測量(山の形を測る)を行い、工事する場所を3D化して工事を行います。工事完成の3Dモデルをパソコンで作って、建設重機へデータを送ります。



重機がどこまで掘っていいか、どんな形に掘るのかを自動で認識してくれます。何の目印もなくとも、きれいに掘ることができます。



上手に掘れたのかの確認も、ドローンによる計測で行います。

AR・拡張現実の技術

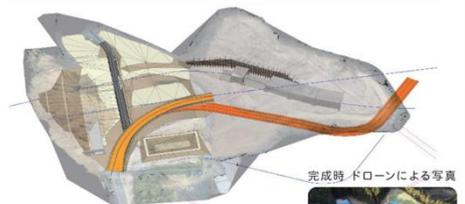


ゲームに使われている技術で、工事現場でも活用しています。何も無い場所にARでクレーン車を出現させられます。

まだ工事中でも、ARで完成の状況を確認して、みんなに「こんな道路ができるよ」と伝えることもできます。



デジタルツインの技術



完成時 ドローンによる写真

パソコン上で実際に工事を行うかのように3Dモデルを作成していき、施工時の不具合を前もって認識することができます。



※工事現場によって導入しているICT施工の種類が異なります。